

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		児童・生徒災害給付事業費 [全国市長会学校災害賠償補償保険加入事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	4	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	教育総務 課 学務 係					課長名	斎藤 謙二郎					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書 (ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	保険加入者である市					市が支払う損害賠償責任額						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
2 指標の推移	市に重大かつ明白な瑕疵があった場合、賠償金の支払いを補填する。					①給付件数 ②給付金額						
	→											
	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	全国市長会の学校災害賠償保険へ加入する					全国市長会学校災害賠償補償保険加入児童・生徒数						
3 経費	③					→						
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
			平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標				
対象指標	①の数値	円	2,052	0	0							
成果指標	②の数値	①件 ②円	①1 ②2,052	①0 ②0	①0 ②0							
目標	②の目標値	①件②円	①0②0	①0②0	①0②0							
		目標値設定の考え方										
活動指標	③の数値	人	6,562	6,555	6,648							
3 経費	事業費(実績)		円	472,683	467,334	495,740		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	472,683	467,334	495,740						
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.0	0.05						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.2	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	412,200	0	419,000						
職員人件費(再任用)	円	0	783,400	0								
事業費+人件費		円	884,883	1,250,734	914,740							
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成20 年度									
	(2) 環境の変化		平成19年度までは民間の保険会社に参加していたが、保険会社の意向により取扱いが中止となったため、平成20年度から本保険に参加した									

事業名称	児童・生徒災害給付事業費〔全国市長会学校災害賠償補償保険加入事業〕			
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係 課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
特になし				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	特になし			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	特になし			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
特になし				
8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
施策名： 学校教育の充実				
☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】 本事業は、児童生徒が安心して学校生活を送るうえで不可欠であり、最低限の人件費で対応していること、市が賠償責任を負った場合の賠償金の支出に備える必要があることを考慮すると、今後も現状どおり事業継続していくことが重要である			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
特になし				